

会場への交通アクセス



※会場での参加には事前申込が必要です。

ホールの最寄駅からのご案内

- 東京メトロ日比谷線・千代田線 「霞ヶ関」駅 C4出口直結
- 東京メトロ丸ノ内線 「霞ヶ関」駅 B2出口徒歩5分
- 東京メトロ銀座線 「虎ノ門」駅 9番出口徒歩3分
- 東京メトロ有楽町線 「桜田門」駅 5番出口徒歩10分
- JR山手線・京浜東北線・東海道線・横須賀線、都営地下鉄浅草線、ゆりかもめ「新橋」駅 徒歩10分
- 都営地下鉄三田線 「内幸町」駅 A7出口徒歩3分

配信用URL

シンポジウム当日はオンラインによるライブ配信を行います。
以下のURLより、YouTubeにてご視聴ください。
<https://www.youtube.com/live/mDd56ys9olw?si=AC1rSUp93JJqLvY>
または、YouTube トップページより「総務省 地方議会」と検索してください。



ご視聴にあたって

- どなたでもご視聴いただけます。(視聴無料、事前申込不要)
- ご視聴環境は、視聴者の皆様においてご準備いただくようお願いいたします。

シンポジウムのお問い合わせ先

総務省自治行政局行政課

〒100-8926 東京都千代田区霞が関 2-1-2 TEL: 03-5253-5510

地方議会活性化 シンポジウム 2023

将来の地方議会を担うのは誰か？
—多様な人材が参画する地方議会の実現—



議員の学校 (提供: 北海道栗山町議会)



ぐんまシチズンシップ・アカデミー (提供: 群馬県議会)



馬頭高校生との意見交換会 (提供: 栃木県那珂川町議会)



議会傍聴託児サービス (提供: 静岡県御殿場市議会)

開催日

令和5年11月13日(月)
14:00 ~ 17:00

会場

飯野ビルディング4階
イノホール
(東京都千代田区内幸町 2-1-1)
+オンライン配信

主催: 総務省 共催: 全国都道府県議会議長会、全国市議会議長会、全国町村議会議長会

地方議会活性化シンポジウム

2023 のご案内

開催趣旨

今後、人口減少や高齢化の進行による人口構造の変容に伴い地方公共団体の経営資源が制約される中で、住民ニーズや地域課題の多様化・複雑化により合意形成が困難な課題が増大する一方、デジタル技術の発展や、ライフコースや価値観の変化・多様化が進むことも想定される。

このような時代の変化に的確に対応していくためには、地方議会においては、多様な人材が参画し、広い見地から地域社会のあり方を議論することが期待される。

しかし、今春の統一地方選挙においては、女性の当選者の割合は過去最高となったものの、議員に占める女性や若者の割合は依然低く、また、投票率の低下や無投票当選の増加が見られ、議会への関心の低下や議員のなり手不足も指摘されている。

多様な人材が参画する議会は一朝一夕に実現するものではなく、将来の議会を見据えては、今から女性や若者など幅広い人材の議会への参画や議員のなり手不足解消に向けて積極的に取り組むことが求められる。そこで、これらの取組に向けた考え方や各議会等における事例を共有するとともに、議会関係者以外を含めた意見交換を幅広く行うため、本シンポジウムを開催する。

プログラム

14:00 ~ 14:05 開会・総務省挨拶

14:05 ~ 15:05 基調講演 谷口尚子氏 慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科教授

15:05 ~ 15:20 休憩

15:20 ~ 17:00 パネルディスカッション

テーマ 将来の地方議会を担うのは誰か？—多様な人材が参画する地方議会の実現—

コーディネーター	只野 雅人 氏	一橋大学大学院法学研究科教授
パネリスト	鵜川 和彦 氏	北海道栗山町議会議員
	狩野 浩志 氏	群馬県議会議員
	菅沼 芳徳 氏	静岡県御殿場市議会議員
	辻 陽 氏	近畿大学法学部教授
	益子 純恵 氏	栃木県那珂川町議会議員

※五十音順 役職は令和5年10月末日現在

17:00 閉会

基調講演



たにぐち なおこ
谷口尚子氏

慶應義塾大学大学院
システムデザイン・マネジメント研究科教授

慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻博士課程単位取得退学（1998年）、博士（法学、2001年）。東京工業大学准教授等を経て現職。専門は政治学（政治過程、選挙等）。総務省「第31-33次地方制度調査会」委員（2018-現在）、内閣府「地方分権改革有識者会議」議員（2013-現在）等を務める。

パネルディスカッション

テーマ 将来の地方議会を担うのは誰か？—多様な人材が参画する地方議会の実現—



コーディネーター
ただの まさひと
只野 雅人氏
一橋大学大学院法学研究科教授

1993年3月一橋大学大学院法学研究科博士後期課程修了、博士（法学）。広島修道大学法学部助教授、一橋大学助教授などを経て、2005年から現職。総務省「地方議会・議員のあり方に関する研究会」「直接請求制度の運用上の課題に関する研究会」座長などを務める。著書に『代表における等質性と多様性』など。



パネリスト
うかわ かずひこ
鵜川 和彦氏
北海道栗山町議会議員

1956年北海道栗山町生まれ。小樽商科大学商学部経済学科卒業。1995年に創業した砂利・砂生産・販売会社のユニ建材社長。2007年に栗山町議会議員に初当選し、現在5期目。2011年より今期4期目の栗山町議会議員を務める。議会の活性化は、時勢を読み議会の地力を涵養するような取り組みを念頭に推進している。



パネリスト
かのう ひろし
狩野 浩志氏
群馬県議会議員

1960年群馬県前橋市生まれ。参議院議員秘書、前橋市議会議員（2期）を経て、2003年群馬県議会議員に初当選し、現在6期目。2019年に群馬県議会議員に就任。現在、議会基本条例推進委員会委員長として、議会改革や若者の政治への関心を高めるための取組を推進している。



パネリスト
すがぬま よしのり
菅沼 芳徳氏
静岡県御殿場市議会議員

1955年静岡県御殿場市生まれ。立命館大学産業社会学部卒業後、御殿場農業協同組合に勤務したのち、2016年、御殿場市議会議員に初当選し、現在2期目。その間、副議長、福祉文教委員会委員長、経済環境委員会委員長等を歴任し、本年2月から第72代御殿場市議会議員に就任。



パネリスト
つじ あきら
辻 陽氏
近畿大学法学部教授

1977年生まれ。1999年京都大学法学部卒業、2003年同大学法学研究科博士後期課程中退。博士（法学）。近畿大学法学部講師、同准教授を経て2016年より現職。著書に『日本の地方議会—都市のジレンマ、消滅危機の町村』（中公新書、2019年）、『戦後日本地方政治史論—二元代表制の立体的分析』（木鐸社、2015年）。



パネリスト
ましこ すみえ
益子 純恵氏
栃木県那珂川町議会議員

2017年議会議員補欠選挙初当選から那珂川町議会議員を務め、現在3期目。その間、議会広報特別委員長、教育民生常任委員長等を歴任し、2022年5月から議長を務める。議会改革、議員のなり手不足への取組を積極的に推進するほか、「住民に開かれた議会」「女性の未来のために子育てしやすい住みたい町に！」を掲げ、町民の声を町政に反映すべく、日々の活動に尽力している。